

新規就農 適性・知識・準備チェックシート

このチェックシートは農業で生計を立てることを前提として、新規就農に当たっての適性や知識・準備の進み具合を自分自身でチェックするものです。

当てはまらない項目は、一般的にこれから就農を目指す場合に、準備あるいは獲得が必要な項目ですので準備に努めてください。

I 就農に対する適性

- 健康・体力には自信がありますか。
- 生き物（動植物）が好きですか。
- 草取りのような単純作業も、こつこつやることができますか。
- 他人との付き合いは苦にならないと言えますか。
- 忍耐力には、かなりの自信があるとと言えますか。

II 新規就農についての意欲、動機、知識

- 農業所得で生活する、職業としての農業を目指していますか。
- 新規就農した経営者に会ったり、体験談を直接聞いたことがありますか。
- これまで受けた農業体験や研修により、農作業の厳しさを身をもって分かっていますか。
- 家族と一緒に生活や仕事がしたいと考えていますか。
- 農業は、自然の中で生き物を育てるため、自然災害や技術不足により収穫が皆無あるいは激減する場面があることを知っていますか。
- 農作物の販売単価は、高値になったり安値になったり暴落することがあることを知っていますか。
- 新たに農業を始めることは、自ら新しく事業を起こし、経営者になることです。非農家出身者が新たに農業をはじめるとは、既存の生産基盤のある農家子弟が農業をはじめるとより容易でないことを分かっていますか。

III 新規就農の事前準備状況

- 新規就農に関する情報収集を行っていますか。
(就農窓口訪問・相談会参加・インターネットホームページ・情報誌等)
- 家族も農業や農村社会についてよく理解し、その上で就農に同意していますか。
- 自動車運転免許（普通免許以上）を所持していますか。（ペーパードライバーは不可）

IV 目指す農業経営像の明確化

- どんな作物をつくるのか（作物選択）意向が固まっていますか？
(作物：) (適地：)
- どこで農業をやるか（就農希望地）意向が固まっていますか？
(就農希望地：)
- 経営タイプを選択しましたか？（経営作物は単一か、複数か）
- 栽培方法を選択しましたか？（露地栽培か施設栽培か、どのような作型か）
- 農作業に従事できる労働力と作物・経営タイプ・栽培方法の選択が経営規模とマッチしていますか？

V 就農先の選定

- 就農先は「IV 目指す農業経営像の明確化」の作物や栽培方法の選択とマッチしていますか。
- 選択作物の主産地で、生産技術の指導体制や生産物の出荷・販売体制が整備されており新規就農者の受入支援が期待できますか。
- 就農先の市町村の行政等が農業外からの新規就農に積極的で、研修から就農までの支援措置があるかどうか確認していますか。
- 現地視察に際しては、1か所に季節を変えて何度か足を運ぶようにしていますか。
- 生活条件（町の中心部までの距離や道路・交通事情・学校や病院・商店街までの距離）の検討はしましたか。
- 就農先の選定に当たり、決定前に一度は家族（できれば全員）で現地を訪問していますか。
- 現地視察の際は、地元の農家（住民）から積極的に、地元の状況について話を聞いていますか。そのとき家族を同伴していますか。
- 農地を確保（購入又は借りる）できる情報を得ていますか。
- 就農先に農地確保に当たって面倒をみってくれる世話人的な人がいますか。
- 住宅を確保する目途がたっていますか。

VI 農地の確保

- 取得（賃借）を考えている農地は、農地法の許可要件のうちの一つである「農地の全てを効率的に利用して耕作等を行うと認められること」がクリアできますか。
- 取得（賃借）を考えている農地は、農地法の許可要件のうちの一つである「農作業に常時従事（年間150日以上）すると認められること」がクリアできますか。
- 取得（賃借）を考えている農地の面積規模は、農地法の許可要件のうちの一つである「取得後経営面積が原則として50a以上（市町村によっては50a未満のところもあり、確認が必要）となること」がクリアできますか。
- 借地の場合、10a当たりの賃借料を把握していますか。

VII 技術の習得

- これまでに1年間以上にわたる農家、農業法人等で本格的研修を受けたことがあり、（又は修行中）、目指す農業（作物）の栽培技術と経営についての知識は、身に付いていますか。
- 就農希望地で就農に当たって親身になって面倒をみてくれる世話人的な人がいますか。あるいは、就農後に技術的なサポートが受けられますか。

VIII 資金の確保

- 営農のために用意できる自己資金はいくらですか。【 万円】 A
- 営農のために必要となる資金額の見込みはたっていますか。
（初期の設備投資金と1年目の資材・材料費。農地購入の場合は土地代も含む）
【 万円】 B
- 借入れが必要な資金額は？ 【 万円】 B - A
- 活用できる融資制度と融資制度を活用して借りられる資金額は
○制度資金名（ ）、借入可能金額 【 万円】
○制度資金名（ ）、借入可能金額 【 万円】
- 融資制度を利用する場合、連帯保証人、担保が必要な融資制度については、連帯保証人、担保が確保できますか。

IX 農業機械・施設の取得や営農計画

- 農業機械・施設の取得（購入や借入れ）の計画を立てていますか。
- 経営について一定の知識（複式簿記等）がありますか。
- 就農後の営農計画や販売計画等を立てていますか。
 - 農協出荷を軸に販売計画を立てたい。
 - 農協出荷と直販を組み合わせたい。
 - 直販や個人宅配などを中心に組み組みたい。
 - 生産から加工・販売まで行う多角的経営を目指したい。
 - 有機農産物の生産・販売を行いたい。

X 農村生活、就農後の生活について

(1) 生活資金面

- 生活資金の確保を十分検討していますか。
 - 最低2年間位の生活費は確保している。
 - 農業所得と自己資金で2～3年分は確保できる見込みである。
 - 国や自治体の支援資金や研修助成金と自己資金で対応できる。
 - 本人や家族にある程度の農業収入・農外収入が見込まれる。
 - 借家の場合、農業収入が不十分でも、家賃が確保できる。
 - サラリーマンのときには、給与から差し引かれていた税金、福利厚生費のうち、市町村税、国民健康保険料は前年度の所得額を基準に課税されます。その支払いを考慮している。

(2) 生活・教育面

- 農業をするには、住居がアパートなどでは、不便な場合があることを知っていますか。
- 農地と住居が離れていると作業が不便であることを知っていますか。
- 農村では、地域内の人とのつきあいが濃密です。営農のためにも地元農家とのつきあいが重要です。積極的にコミュニケーションが図れますか。
- 農業に関わる共同作業や地域での役割が求められることを知っていますか。
- 子供の学校や保育園・幼稚園の通学・通園に問題はありますか。
- 交通網や公共施設、病院、商店街等のチェックは済んでいますか。

*このチェックリストは、栃木県青年農業者育成研究会が作成した内容を基に、青森県版に修正して掲載しています。